

## 第6学年2組 外国語科学習指導案

【日時】令和2年11月12日(木) 14:30~15:15 【場所】図工室 【指導者】牛尾 美穂

### 本授業の主張点

自分たちが考えた給食の献立について、既習・新出表現や関連知識を生かし、相手の反応を見て伝え方を工夫したりしながら、どうすれば相手に分かりやすく伝えることができるか考える児童の姿をお見せします。

### 1 単元名 Let's think about our food.~提案します！給食の献立~

### 2 単元の構想

#### (1) 単元について

本単元は、Junior Horizon Elementary English Course 6 Unit 6 “Let's think about our food.”の単元を基に内容を児童の実態に合わせて構成したものである。児童の興味・関心に沿って英語表現に出会わせ、慣れ親しんだ英語表現を使って自分の思いや考えを、内容や構成などを工夫しながら相手に分かりやすく表現しようとする能力の育成を目指す。また、家庭科や社会科で学んだ学習内容を想起させながら取り組むことができる単元でもある。既習の英語表現と他教科の学びを結び付けることで、単元終末のゴールの言語活動へ意欲をもって活動することができる内容にした。

#### (2) 児童について

本学級の児童は、Unit 4 “Summer vacations in the world.”で過去に経験したことを伝え合う学習を行った。行った場所や食べた物、感想等を内容や伝え方を工夫しながら伝える様子が見られた。また、Unit 5 “We all live on the Earth.”では、生き物のつながりについて考え、発表した。発表内容を考える際、マッピングを用いて内容を整理したり、自分が持っている知識や理科の学習を関連付けたりすることができた。しかし、もっている語彙や表現の少なさに反して、正しい表現で言いたい思いが強いことや自信のなさから自分の思いや考えを伝えることを躊躇してしまう児童もみられる。児童が明確な目的をもって、自分の思いや考え等の伝えようとする内容を整理したり、簡単な語句や基本的な表現を用いて話したりすることができるように、何のための活動なのかを問いかけ、確認していく。

#### (3) 指導について

指導に当たっては、単元構成を考えると、パフォーマンス課題を決定し、逆向き設計で単元内容を組み立てた。本単元のパフォーマンス課題は次の通りである。

コロナ禍で佐賀県農業は大打撃を受け、消費が落ち込んでいます。毎日全校600人以上が食べる給食での消費は大きなものです。佐賀県農業を救う一助となる附属小学校の給食の献立を提案しましょう。

単元の導入では、パフォーマンス課題の解決に向けた活動やCAN-DOリストを明らかにし、見通しをもって学習に臨めるようにする。社会科と関連付け、日本の食料生産や食料自給率について推測しながら聞く活動の中で食べ物の英語表現に出会わせるとともに、コロナ禍における佐賀県の食料事情について考えさせる。そして、慣れ親しむ段階では、食材や産地、食品グループに関わる簡単な語句や基本的な表現に慣れ親しませる。パフォーマンス課題の解決へ向かう段階では、自分の考えや伝えたい思いをどう言語化し、どうすれば分かりやすく伝えられるかを試す場としてTLCサイクルを設定する。実際のコミュニケーション活動を体験し、試行錯誤させながら、聞き手・話し手の立場で分かりやすい伝え方に気付かせていく。本時は、主食、主菜、副菜、汁物、デザートの中から一人一品考え、友達と伝え合う。メニューに込めた思いを英語を使って言語化するのは難しいが、既習や新出の言語やジェスチャーを活用して、何とか伝えようとする姿を認めていく。単元終末では、それぞれのメニューを発表した後、一食分の献立となるよう組み合わせる。そして、その献立を栄養教諭に提案し、採用を検討してもらう。最後に、CAN-DOリストと自分たちの発表を照らし合わせ、TLCサイクルを通してどのように変化したのかを実感させる。英語を使って自分の思いや考えを伝えられた喜びを感じさせるとともに故郷を支える一員として主体的に関わろうとする態度を育成したい。

### 3 単元の目標

給食のメニューを提案するために、使用する食べ物や食品グループなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、話したりすることができる。

### 4 単元の評価規準

- ア “I ate ~.” “~is from…” “~ is in the … group.” およびその関連語句などについて理解し、聞き取ったり、話したりしている。 【知識・技能】
- イ 給食のメニューを提案するために、使用する食べ物や食品グループなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話している。 【思考・判断・表現】
- ウ 佐賀県の食料事情から、佐賀県農業を救う一助となる給食のメニューを考え、簡単な語句や基本的な表現を用いて自分の考えや気持ちを話そうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

### 5 単元計画

時	目標 (◆) と学習活動 (○) 紙面化された活動 (【】)	教師の働きかけ (○)
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 日本の食料事情や佐賀県の状況について聞き、内容の大体を理解する。</li> <li>○ 日本の食料事情や佐賀県の状況について聞く。</li> <li>○ 【let's Try1】 Pointing Game</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本の食料事情について児童とやり取りをしながら理解できるようにする。</li> <li>○ 給食の話題から佐賀県の状況を知らせパフォーマンス課題につなげる。</li> <li>○ パフォーマンス課題を知らせ、単元のねらいをつかませる。</li> <li>○ 食べ物の英語表現に慣れ親しませる。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 食材やそれらの産地についてのやり取りの内容を理解する。</li> <li>○ 【Small Talk】 What do you usually have for breakfast?</li> <li>○ 食べ物や食事の英語表現に慣れ親しむ。</li> <li>○ 【Starting Out】 No.1 ~No.4</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 児童同士でのやり取りの前に、内容や方法を理解したり、頻度を表す英語表現に気付かせたりするため、ALT とやり取りのモデルを示す。</li> <li>○ 聞くときの観点を示し、音声を聞かせる。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 食材やそれらの産地について伝え合う。</li> <li>○ 【Small Talk】 What did you eat last night?</li> <li>○ 【Let's sing】 What did you eat?</li> <li>○ 【Let's Listen1】 食べた物や食材について聞き、語順に気をつけてカードを置く。</li> <li>○ 【let's Try2】 Point and Say Game</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 既習の過去形の英語表現を想起させる。</li> <li>○ 食べた物とその産地を表す英語表現に慣れ親しませる。</li> <li>○ 聞いたことについて、カードを並べながら、内容を理解させる。</li> <li>○ 食べ物の産地を尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しませる。</li> </ul>

4	<p>◆ 食べ物がどの食品グループに入るのか考える。</p> <p>○ 【Let's sing】 What did you eat?</p> <p>○ 【Small Talk】 Where is the~from? How much?</p> <p>○ 【Starting Out】 No.5</p> <p>○ 【Let's Listen1】 食べ物がどの食品グループに分けられるのか聞く。</p>	<p>○ 食べ物の産地を尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しませる。</p> <p>○ 3けたの数字に慣れ親しむことができるよう “How much?” を使って値段を尋ねたり答えたりする表現を加える。</p> <p>○ 聞くときの観点を示し、音声を聞かせる。</p> <p>○ 聞き取った食べ物の英語表現について、モデルを見ながら書き写させる。</p>
5	<p>◆ 食べ物がどの食品グループに入るのか考え、伝え合う。</p> <p>○ 【Let's sing】 What did you eat?</p> <p>○ Pointing Game</p> <p>○ Key Category Game.</p> <p>○ 【let's Try3】 絵カードを食品グループに分け伝え合う。</p>	<p>○ 食材や果物、野菜の英語表現を繰り返し聞いたり、声に出したりして、音声に慣れ親しませる。</p> <p>○ 給食が栄養バランスに気を付けて作られていることに気付くことができるように、給食の献立を基に準備した絵カードを赤・黄・緑の食品グループに分け、伝え合わせる。</p>
6	<p>◆ 提案する給食のメニューを考える。</p> <p>○ 【Let's sing】 What did you eat?</p> <p>○ 提案する給食のメニューを絵やキーワード等で表現し、内容を考える。</p>	<p>○ パフォーマンス課題を確認し、活動の目的を明らかにする。</p> <p>○ 発表内容や使用する表現を参考にすることができるよう教科書のオリジナルカレー発表の動画を見せる。</p> <p>○ どんなメニューにするか、どんな食材を使うかなぜそのメニューにしたのかなどの視点を与え、考えさせる。</p>
7 (本時)	<p>◆ 自分が考えたメニューやそれに込めた思いや考えが相手に伝わるように話す。</p> <p>○ 3 hints quiz</p> <p>○ 互いに自分が考えたメニューを伝え合いながら、内容や表現方法を工夫する。</p>	<p>○ クイズ活動を通して、既習表現を想起したり、様々な地元の食材に着目したりできるようにする。</p> <p>○ 自分が考えたメニューやそれに込めた思いや考えが相手に伝わるように、考えたり、実際に伝えたりさせ、内容や表現、分かりやすく伝えるための工夫について整理する。</p>
8	<p>◆ メニューを伝え合い、一食分の献立を完成させ、提案する。</p> <p>○ 【Let's sing】 What did you eat?</p> <p>○ 一食分にすることを考えながら友達のメニュー発表を聞く。</p> <p>○ グループで献立を提案する。</p>	<p>○ 一食分の献立にすることを伝え、聞くときの視点を確認する。</p> <p>○ 分かりやすく伝えるための工夫を交えながら提案するよう促す。</p> <p>○ 単元を通して、できるようになったことを振り返る。</p>

## 5 本時の指導（7/8）

### (1) 目標

自分が考えた給食のメニューについて、相手に分かりやすく伝えるための表現や方法を考え、話している。

(2) 評価規準

イ 給食のメニューを提案するために、使用する食べ物や食品グループなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを話している。 【思考・判断・表現】

(3) 本時の展開

学習活動と児童の反応 (□□□□)	教師の働きかけと形成的評価 (◆)
<p>1 パフォーマンス課題を確認し、本時のめあてを知る。 (2分)</p>	<p>1 パフォーマンス課題を提示し、見通しをもたせることで、本時のめあてを意識できるようにする。</p>
<p>自分が考えたメニューやそれに込めた思いや考えが相手に伝わるように話そう。</p>	
<p>2 食べ物当てクイズをする。 (7分)</p> <p>3 自分が考えた給食のメニューを分かりやすく伝えるための表現や方法を考える。TLCサイクル(30分)</p> <p>(1) 教師のモデルを聞いて、気付きを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ポスターを見せながら言うと分かりやすい。</li> <li>・ 産地や栄養素を伝えている。</li> <li>・ 強調している部分がある。</li> </ul> <p>(2) 友達と伝え合う。</p> <p>Hello, everyone. This is my lunch menu. Onion soup. The onions are from Saga. The asparagus are from Saga, too. Onions and asparagus are in the green group. It's very healthy! Thank you.</p> <p>(3) 相手に伝えるための表現や方法を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ まず、どんなメニューなのか伝えよう。</li> <li>・ 佐賀産の食材を使っていることを強調したいなあ。</li> <li>・ なぜ、玉ねぎを使っているかも伝えた方がいいかな。</li> <li>・ 料理法を言うことで工夫していることが伝わるかも。</li> </ul> <p>(4) 自分が考えた給食のメニューを再度伝え合う。</p> <p>(5) 学習活動3-(4)を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分が考えたメニューのアピールポイントが付け加えられた。</li> <li>・ 地元のは“local”と言えばいいと分かった。</li> <li>・ なぜそのメニューにしたのか伝えられた。</li> </ul>	<p>2 これまでに慣れ親しんだ英語表現を想起することができるようにするため、クイズ活動を行う。</p> <p>3-(1) 慣れ親しんだ英語表現が使われている場面を聞くことで、どんな英語表現を用いたらよいか確認できるようにする。</p> <p>3-(2) 相手に分かりやすく伝えるための工夫について気付くことができるよう、言語・非言語の視点を与え、モデルを聞くよう促す。</p> <p>3-(3) 気付きを生かして、相手に伝えたり、相手の発表を聞いたりするよう促す。</p> <p>◆相手に分かりやすく伝えるための表現や方法を考え話しているか(発言、観察)【思考・判断・表現】</p> <p>A 相手の反応を見ながら話し方を工夫して話したり、相手に話に反応しながら聞いたりしている。</p> <p>B 相手の反応を見ながら話し方を工夫して話している。 → 相手の話に頷いたり、相手が言った単語を繰り返したりするよう促す。</p> <p>C 給食のメニューを伝えるための工夫が分からず、うまく話すことができない。 → 友達が話しているのを聞いて、工夫を一緒に探す。</p> <p>3-(4) 学習活動3の振り返りを生かして伝え合っている児童の姿を具体的に評価する。</p> <p>3-(5) 話していてうまく言語化できず困ったことはなかったか問い、既習の英語表現での言い換えを学級全体で考えることで児童の思考を促す。</p> <p>3-(6) 内容や英語表現、聞き方、話し方について振り返る。</p> <p>4 伝えるときに工夫したことや相手の話を聞いて考えたことなど、めあてに迫る振り返りができている児童の言葉を取り上げ、全体で共有する。</p>
<p>4 本時の活動を振り返る。 (6分)</p>	<p>4 伝えるときに工夫したことや相手の話を聞いて考えたことなど、めあてに迫る振り返りができている児童の言葉を取り上げ、全体で共有する。</p>